

見守り支援機器導入評価 議事録

開催日時	2025 年 7 月 9 日（金） 12:00～13:00 特養部門会議（旧運営推進会議）内にて報告
開催場所	特別養護老人ホーム旭が丘ホーム 相談室
出席者	旭が丘ホーム：田村啓子理事長、旭が丘ホーム：堂東若菜課長 旭が丘ホーム紅葉葵：大西施設長
議事録作成者	堂東若菜

1. 導入機器概要

機器名	バイタルセンサー aams
導入時期	2025 年 6 月
設置箇所	個室 10 室（計 30 床分）
主な機能	・ ベッド上の動作検知（起き上がり、離床） ・ 転倒リスク予測 ・ 睡眠パターン分析 ・ バイタル異常検知 ・ スマートフォン連動機能
導入費用	JKA 補助金：76.7 万円、施設負担：25.6 万円

2. 評価結果

利用者安全性	・ 転倒事故について：ベッドからの転倒は 0 件 ・ 夜間の離床による事故：0 件 ・ 異常の早期発見率向上：睡眠状況の把握を行うことが可能で不眠等を早期に対応できる
職員負担軽減	・ 夜間巡回回数：半分程度に軽減 ・ 職員の精神的負担軽減：ターミナルケア時の不安が解消できるとの意見
利用者満足度	・ 4 名の入居者から夜間は巡回をして欲しくないので訪室が無くなるのはうれしいとのご意見
システム安定性	・ 稼働率：100% ・ 誤報率：誤報はないが、感度が高すぎる ・ システム障害：運用に問題はないが、瞬間的な通信エラーが想定より多い。

3. 課題と改善点

3.1 技術的課題

- ・心肺停止や呼吸低下等の精度の向上
- ・Wi-Fi 環境の安定化（一部居室で接続不安定）
- ・アラート音の種類の個別調整機能の要望

3.2 運用面での課題

- ・職員のシステム習熟度にばらつきあり（特にパート職員）
- ・データ分析結果の活用方法の標準化が必要
- ・夜勤時の対応方法の見直し

3.3 入居者・家族対応

- ・プライバシーに関する不安への継続的な説明
- ・システムの仕組みについての理解促進
- ・医療機器ではないことの周知徹底

4. 改善策・対応方針

誤報率の改善	感度の調整及びメーカーに相談	2024 年 9 月
職員研修の充実	研修の実施	2024 年 9 月
担当職員の任命		2024 年 8 月
Wi-Fi 環境改善	アクセスポイントの調整	
	技術者の来訪以来	2024 年 8 月中

5. 今後の方針・決定事項

- 運用決定：評価結果を踏まえ、本格運用をすることを決定
- 段階的拡大：効果が確認されたため、他事業所への導入を検討
- 職員体制：システム担当者を正式に配置（機械に詳しい職員が兼務）
- 職員研修：2024 年 8 月中にメーカー説明会の動画を含むイーラーニングを実施する

6. その他の協議事項

特になし

以上